

男女共同参画社会の実現に向けた 日独韓からの提言

—誰もが暮らしやすい社会をめざして—

日時

9月27日(土)

13:00 ▶ 16:30

会場

熊本大学 黒髪北キャンパス
くすの木会館
レセプションルーム

入場無料

当日参加も可能ですが、事前申し込みにご協力ください。

【託児を希望される方】

事前申し込み必須となっております。

申込期限:9月16日(火) 無料

【申込・お問い合わせ】

熊本大学 大学院先導機構

国際共同研究拠点 人文社会科学系担当

TEL:096-342-2480 (平日9:00-17:00)

E-mail: c-sato@jimu.kumamoto-u.ac.jp

Program

全て日本語で行われます。

- ◆13:00
開会挨拶
高橋 隆雄(人文社会科学系国際共同研究拠点長)
- ◆13:05
趣旨説明
「アベノミクスは女性を輝かせられるのか
—日本の男女共同施策の課題—」
倉田 賀世(熊本大学法学部准教授)
- ◆13:20
「ドイツにおける現状と課題
—とりわけ大学における男女共同参画の視点から—」
ゲジーネ・フォリヤンティ=ヨースト
(Martin-Luther-Universität Halle-Wittenberg、政治学日本学科教授)
- ◆14:20
「韓国における男女共同参画政策の発展と課題」
大澤 貴美子(延世大学准教授)
- ◆15:00
「日本の地方自治体における男女共同参画社会施策
への取組と課題—条例化の行程での議論や実施後
の課題から学ぶ—」
古橋 エツ子(花園大学名誉教授)
- ◆15:50
パネルディスカッション
- ◆16:30
閉会の挨拶
山縣 ゆり子(熊本大学副学長・男女共同参画推進室長)

講演者等紹介



ゲジーネ・フォリヤンティ=ヨースト

マルティン・ルター大学ハレ・ヴィッテンベルグ 政治学日本文学 教授
(Professorin, Martin-Luther-Universität Halle-Wittenberg)

ボン大学、ベルリン、日本(東大)での研究を経て1992年よりマルティン・ルター大学教授に就任。2014年8月まで同大学の副学長。ベルリン日独センター評議会委員、日独フォーラム委員、ドイツ日本研究所学術顧問会長、旭日中経章受賞(2013年秋)等
【著書】Bürger als Partner – Kooperative Demokratie in japanischen Kommunen, Wiesbaden (Springer, 2013)『パートナーとしての市民—日本の自治体における協働型民主主義』共著(スプリングー, 2013)
Kommunizieren, Kontrollieren, Korrigieren – Gewaltprävention an japanischen Mittelschulen, Berlin, Frankfurt/Main (Peter Lang Verlag, 2003)『対話・規制・矯正—日本の中学校における暴力予防対策』共著(ベーターラング, 2003)
Bürger und Staat in Japan, Halle (Universitätsverlag Halle-Wittenberg, 2013)『日本における市民と国家』共編(ハレ大学出版会, 2013)など



古橋エツ子

花園大学 名誉教授
(Emeritus Professor, Hanazono University)

花園大学教授、名古屋経営短期大学・学長を経て現在花園大学名誉教授。
【著書】『女性と社会保障』共著(東京大学出版会, 1993年)
『介護休業—家族の介護が必要になったとき—』単著(岩波書店, 1999年)
『新・初めての社会保障論』編著(法律文化社, 2014年)など



大澤貴美子

延世大学原州キャンパス 准教授
(Associate Professor, Yonsei University, Wonju Campus, East Asia International College)

2011年にUniversity of Wisconsin-Madison(米国)で政治学の博士号を取得後、現職。
【論文】“Traditional Gender Norms and Women’s Political Participation: How Conservative Women Engage in Political Activism in Japan.” Social Science Japan Journal (2015)など



山縣ゆり子

熊本大学副学長、大学院生命科学研究部教授併任

大阪大学大学院薬学研究科博士課程修了。大阪大学薬学部助手、助教授を経て、熊本大学大学院薬学研究科教授、組織改組で現職。
【論文】共著「Watching DNA polymerase η make a phosphodiester bond」Nature (2012)、共著「Diverse substrate recognition and hydrolysis mechanisms of human NUDT5」Nucleic Acids Res. (2011)



倉田賀世

熊本大学法学部 准教授

北海道大学大学院法学研究科博士後期課程にて博士(法学)号取得後、北海道大学法学部助手、関西外国語大学講師を経て現職。
【著書】『子育て支援の理念と方法』単著(北海道大学出版会, 2010年)、小宮他編『社会法の再構築』共著(旬報社, 2011年)、日本社会保障法学会編『地域生活を支える社会福祉』共著(法律文化社, 2012年)など

パネルディスカッション・ファシリテーター



吉田龍太郎

慶應義塾大学法学部 助教(有期・研究奨励)

慶應義塾大学大学院法学研究科研究員を経て現職。
(さいたま市男女共同参画推進協議会委員)
【論文】「ディーセントワークと男女の実質的平等へ向けて」(労働の科学 69巻2号, 2014年)、「保守合同後の芦田均—近代主義者の国家論とその帰結—」(法学政治学論究 101号, 2014年)など

注意事項

- ・駐車場に限りがありますのでなるべく公共交通機関をご利用ください。
- ・お車でお越しの際には、北地区守衛所(右図34番)でコインを受け取ってからお入りください。

会場案内

熊本大学黒髪北キャンパス

くすの木会館レセプションルーム

(下図キャンパスマップ14番の建物です)

